

鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和 7 年 12 月 31 日までです。

① 研究課題名	柔道療育に取り組む児童を対象とした柔道技能（投技）の効果的な習得方法に関する実践研究
② 対象者及び対象期間	鹿児島県鹿屋市に所在する「放課後等デイサービス笑光」において、2024 年 11 月から 12 月にかけて実施された投技（大内刈）の足形シートを用いての介入指導に参加した 6 名の児童を対象としています。
③ 概要	本研究では柔道療育に取り組む児童に対して、柔道技能（投技）の効果的な習得方法を検討しました。柔道の投技である「大内刈」を題材とし、視覚的支援を講じて介入指導を実施しました。研究対象は放課後等デイサービス笑光に通う 6 名の児童であり、足形シートを用いて 4 週間の介入指導を展開しました。技能習得の評価は、プレテスト・ポストテストにおいて「大内刈スキル評価表」を用いて実施しました。 介入指導の結果から、視覚的支援は大内刈の習得に有効であり、特に基本動作の向上に貢献することが示唆されました。一方で、柔道や大内刈の特徴的な技能である密着動作の習得には、長期的かつさらに工夫を凝らした指導が必要であると考えられました。
④ 研究の目的・意義	本研究は、療育に取り組む児童（障害児）が柔道の投技「大内刈」を効果的に習得できる指導法を検討することを目的としています。また、その意義は視覚的支援を活用することで指導の質を向上させ、障害児の運動能力や柔道技能の向上に寄与することにあります。
⑤ 研究期間	倫理審査小委員会承認日から令和 7 年 12 月 31 日まで
⑥ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	介入指導前後のテストの結果及び介入指導の様子に関する情報を使用します（顔が写っている写真データは使用いたしません）。使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を施した上で研究に使用します。
⑦ 利用または提供する情報の項目	被験者のプロフィール（学年、通所期間、介入指導回数、（疑われている）障害名、行動特性）、大内刈スキル評価テストの結果（プレ、ポスト）
⑧ 利用の範囲	鹿屋体育大学 スポーツ・武道実践科学系 講師 小崎亮輔
⑨ 研究試料・情報の管理について責任を有する者（お問い合わせ先）	鹿屋体育大学 スポーツ・武道実践科学系 講師 小崎亮輔 Tel: 0994-46-4952 E-mail: rozaki@nifs-k.ac.jp
⑩ 事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel: 0994-46-4820 E-mail: kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪ 承認番号	
--------	--

⑫過去の研究課題名と 研究責任者	
---------------------	--